



グリーンカット用打継目処理剤

フローリック TG

従来、ダム用コンクリートのグリーンカット作業は天候、気象条件によりグリーンカット開始時間を変える必要があり、夜間作業、休日の作業が避けられない環境にあります。また、RCD工法では初期強度の発現が小さいため、粗骨材とモルタルとの付着を緩めるオーバーカットになり易く、重機類の走行からコンクリート表面が荒れ、打継目の強度や打設前清掃に問題が生じていました。

フローリック TG をコンクリート表面に散布することにより、表面薄層部の凝結を遅延させ、グリーンカット開始時間を任意に設定することができます。また、高圧水を使用しなくてもレイタンスおよび薄層部を簡単に除去し、作業の安全を図ると共に骨材の緩みをなくし打設前清掃を軽減させるグリーンカット用凝結遅延剤です。

物 性

主成分	オキシカルボン酸塩
外観	黄褐色液体
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.01% *
アルカリ量	1.3% *
密度 (g/cm ³)	1.06 ~ 1.08

(* 分析値例)

特 長

- 塩化物を含まないので鉄筋を腐食させません。また、コンクリートの性状に悪影響を与えません。
- 高圧水を使用しなくても、コンクリート表面を均一に簡単に洗い出すことができ、ズリなどの飛散を抑えることができます。
- 散布量を変えることによりグリーンカット作業開始時間を任意に設定することができます。
- 従来の機械処理（ワイヤブラシ）と同等の性能を確保でき、省力化が図れます。



使用方法

- フローリック TG はブリーディング終了後、噴霧器などによりコンクリート表面に均一になるように散布してください。
- フローリック TG の散布量は 300g/m² が目安です。
- グリーンカット開始時間、環境温度、セメントの種類、単位セメント量などの配合条件により散布量を増減してください。

使用上の注意

- 使用量は所定標準量になるように管理してご使用ください。
- 冬期には凍結にご注意ください。

性能

1. 配合

No	スランプ (cm)	W/P (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)								AD (%)
				W	C	FA	S	Gmax (mm)				
								150	80	40	20	
1	0	73	28	95	91	39	612	485	323	323	485	1.0
2	8	57	47	172	210	90	841	—	—	—	974	1.0
3	8	57	47	172	300	—	859	—	—	—	991	1.0

※ No.1、No.2 は中庸熟ポルトランドセメント、No.3 は普通ポルトランドセメントを使用

2. 30 時間後の除去深さの測定結果

(環境温度 20℃)

No	フローリック TG の散布量 (g/m ²)	0	100	200	300	400
1	平均除去深さ (mm)	除去不可	2.7	3.2	3.6	3.6
	評価	×	△	○	◎	◎
2	平均除去深さ (mm)	除去不可	2.3	3.7	3.9	—
	評価	×	△	○	◎	—
3	平均除去深さ (mm)	除去不可	1.9	3.9	3.9	—
	評価	×	△	○	◎	—

※評価の×は除去不可、△は若干残る、○は除去可能、◎は迅速に除去できる

取扱い上の注意

- フローリック製品が皮膚に付着した場合には、清水で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

荷姿

タンクローリ・18kg 缶